

第1回中学記録会 競技注意事項

1. 競技規則について

2023年度陸上競技連盟及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- ①選手招集は第3ゲートバックスタンド下で実施する。
- ②招集開始時刻にアスリートビブスとスパイクの確認を受ける。
- ③携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内、競技エリア内に持ち込まないこと。
- ④招集時刻（競技開始時間を基準とする。）

トラック競技					
100m,145m,200m,400m,110mH,100mH,4×100m			800m,1000m,1500m,3000m		
組	開始	完了	組	開始	完了
1～6	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前
7～12	15分前	5分前	4～6	15分前	5分前
13～18	5分前	5分後	7～8	5分前	5分後
19～24	5分後	15分後			
25～30	15分後	25分後			
31～36	25分後	35分後			
37～42	35分後	45分後			
43～47	45分後	55分後			

フィールド競技					
跳躍競技		砲丸投		円盤投	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
50分前	40分前	40分前	30分前	70分前	60分前

※四種競技出場者は両日とも最初の種目は招集所に各種目の1組目の招集完了時刻に集合すること。以降についても招集所に招集完了時刻に集合すること。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識は陸協登録ナンバーで作成する。男女とも黒字で明瞭に書き右腰後方につけること。100m、200m、400m、110mH、100mH およびリレーの第4走者は、陸協登録ナンバー（胸、背と同じ番号）の腰ナンバー標識をつけること。（今記録においては、準備できない選手には別腰ナンバー（レーンナンバー）を貸し出す。今記録会以降の大会や記録会については必ず各自で準備すること。）
- ③800m、1500m、3000mについては、別腰ナンバー標識を使用する。大会役員から受け取り、フィニッシュ後に係に返却すること。

4. リレーについて

- ①リレーについては招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を招集所に提出すること。オーダー用紙に学校受付場所に置く。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6 に準ずる。
- ②フィールド種目の試技は3回とする。ただし、諸事情によりセクションラインを設ける場合がある。
- ③三段跳の踏切版から砂場までの距離は男子 10m00、女子 9m00 とする。
- ④フィールド種目 A・B ピットは、
走幅跳、三段跳・・・A スタンド側、B トラック側
- ⑤走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りにする。
男子走高跳・・・・練習 1m40 試合 1m45 以下 5cm 刻みとする。
女子走高跳・・・・練習 1m15 試合 1m20 以下 5cm 刻みとする。
男子四種走高跳・・・・練習 1m35 試合 1m40 以下 5cm 刻みとする。
女子四種走高跳・・・・練習 1m10 試合 1m10 以下 5cm 刻みとする。
男子棒高跳・・・・練習 2m10 試合 2m20 以下 10cm 刻みとする。
女子棒高跳・・・・練習 1m60 試合 1m80 以下 10cm 刻みとする。

6. 競技用具について

- ①スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは 9mm 以内とする。ただし、走高跳は 12mm 以内とする。いずれの場合もスパイクのピンは 11 本以内とする。
- ②シューズ（スパイク、ランニングシューズを含む）の靴底（ソール）の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。

7. ウォーミングアップについて

- ①メイン競技場での練習の時間帯は1日目7：30～10：00、2日目7：30～9：00とする。補助競技場での練習は、8：30～15：00とする。
- ②メイン競技場、補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- ③レーンの使用は、1・2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。バトン練習については、バックストレートのみとする。
- ④投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑤ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。メイン競技場通路や駐車場周辺で、ダッシュ等もウォーミングアップは禁止する。
- ⑥室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように、コーンで仕切るので注意すること。また走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とし、助走路はジョグとして使用可とする。

8. その他

- ①貴重品、荷物類は各校で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ②記録会中における怪我については応急処置の他の責任は負わない。十分に注意すること。
- ③使用した場所は責任を持って清掃すること。各自、各チームが出したごみ等は持ち帰ること。競技場の環境美化に協力すること。
- ④横断幕の設置は、資亜土スタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑤テントはメインスタンドは禁止する。バックスタンド、サイドスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。サイドスタンドの芝生の上にはシートを敷くことを禁止する。